【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和7年2月19日(2025.2.19)

【国際公開番号】WO2024/189823
【出願番号】特願2023-548223(P2023-548223)
【国際特許分類】
Ｆ２８Ｄ　1/053(2006.01)
Ｆ２８Ｆ　3/08(2006.01)
Ｆ２８Ｆ　9/02(2006.01)
Ｆ２８Ｆ　1/02(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　1/14(2011.01)
【ＦＩ】
Ｆ２８Ｄ　1/053　　Ａ
Ｆ２８Ｆ　3/08　３０１Ｚ
Ｆ２８Ｆ　9/02　３０１Ｄ
Ｆ２８Ｆ　1/02　　Ａ
Ｆ２４Ｆ　1/14

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月9日(2023.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示に係る第１の熱交換器は、第１方向に配列され、それぞれが前記第１方向と交差する第２方向に延伸した複数の扁平管を備え、前記扁平管は、内部空間に流体が流通する伝熱流路が設けられた管壁を有する熱交換器であって、複数の前記扁平管の前記第２方向の少なくとも一端に配置され、複数の前記扁平管の前記伝熱流路の一端を覆う板状の管封止部を備え、前記管封止部には、一定のピッチで前記扁平管の前記一端が固定されており、前記管壁は、前記第１方向で向かい合う平板状の管側壁部を有し、前記管側壁部には貫通穴が形成されており、隣り合う前記扁平管は、前記管壁同士を接続し、且つ前記管壁の内部の前記伝熱流路同士を連通させる連結部を有し、前記連結部は、隣り合う前記扁平管の対向する前記管側壁部の少なくとも一方に形成された、前記貫通穴の周縁部から前記第１方向へ突出する連結突起部により構成されたものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１方向に配列され、それぞれが前記第１方向と交差する第２方向に延伸した複数の扁平管を備え、前記扁平管は、内部空間に流体が流通する伝熱流路が設けられた管壁を有する熱交換器であって、
複数の前記扁平管の前記第２方向の少なくとも一端に配置され、複数の前記扁平管の前記伝熱流路の一端を覆う板状の管封止部を備え、
前記管封止部には、一定のピッチで前記扁平管の前記一端が固定されており、

前記管壁は、前記第１方向で向かい合う平板状の管側壁部を有し、前記管側壁部には貫通穴が形成されており、
隣り合う前記扁平管は、前記管壁同士を接続し、且つ前記管壁の内部の前記伝熱流路同士を連通させる連結部を有し、
前記連結部は、隣り合う前記扁平管の対向する前記管側壁部の少なくとも一方に形成された、前記貫通穴の周縁部から前記第１方向へ突出する連結突起部により構成されたものであり、
熱交換器。
【請求項２】
前記連結部は、隣り合う前記扁平管の対向する前記管側壁部の双方に形成された前記連結突起部により構成されたものである
請求項１に記載の熱交換器。
【請求項３】
隣り合う前記扁平管の対向する前記管側壁部の双方に形成された前記連結突起部は、前記第１方向において少なくとも一部が重なる
請求項２に記載の熱交換器。
【請求項４】
前記扁平管は、前記管壁の前記内部空間に配置され、前記第２方向に延伸し、前記内部空間を前記第１方向及び前記第２方向とそれぞれ直交する第３方向に分割する第１仕切りを有し、
前記第１仕切りの前記第２方向の少なくとも一端は、前記扁平管の前記第２方向の両側の端よりも内側に位置する
請求項１に記載の熱交換器。
【請求項５】
複数の前記扁平管のうち少なくとも１組の隣り合う前記扁平管の前記管壁間に設けられ、前記連結部を介した前記伝熱流路間の前記流体の流れを遮断する第２仕切りを備える
請求項１に記載の熱交換器。
【請求項６】
隣り合う前記扁平管の対向する前記管側壁部の少なくとも一方には、前記管壁同士の距離を規制する位置規制突起部が設けられている
請求項１に記載の熱交換器。
【請求項７】
圧縮機と、請求項１～６のいずれか一項に記載の熱交換器と、膨張弁と、室内熱交換器と、が冷媒配管を介して接続され、前記流体が循環する冷媒回路を備えた
空気調和装置。